

次期教育大綱の策定方針

第3期むつ市教育大綱 策定プロセス

○次期教育大綱の策定方針

1 むつ市教育大綱の構成

現在の構成から次期構成への見直しおよび実施計画への移行方針

現状

現在の教育大綱の構成

教育方針

生 き る 力

高い自己肯定感／他者を尊重

重点項目

1 学校教育の充実

(1) 学力の向上

- ①明確な目標設定
- ②教員の資質向上
- ③主体的な学習の推進
- ④0歳から18歳までの学力向上

(2) 体育・健康教育の充実

- ①健康な体を育む学校づくり
- ②安全・防災教育の推進

(3) 夢を育む教育

- ①キャリア教育の充実
- ②特別支援教育の充実
- ③豊かな心の育成
- ④高等教育機関との連携

(4) 地域とともにある学校

- ①ふるさとむつへの愛着と誇り
- ②コミュニティ・スクール推進

2 社会教育の充実

(1) 社会教育・文化の充実

- ①スポーツ活動の推進
- ②生涯を通じた学びの推進
- ③学校・家庭・地域の連携
- ④文化財の保存活用

(2) 変化に対応できる人材育成

- ①持続的発展のための人材育成
- ②社会人の学び直しの推進



次期案

次期教育大綱の構成

教育方針

逞しさ 柔らかさ 奥深さ

重点項目

1. 主体的に未来を切り拓く人づくり

※方針達成へ向けやるべき事を記載

2. 誰一人取り残さないきめ細やかな教育

※方針達成へ向けやるべき事を記載

3. こどもの学びを支える教育環境の充実

※方針達成へ向けやるべき事を記載

4. 未来へつなぐ学びの推進と地域づくり

※方針達成へ向けやるべき事を記載

Point

各年度事業に柔軟性を持たせるため施策は実施計画へ。

事業計画へ移行するメリット

1 大綱の簡易化・伝わりやすさ

大綱を簡易にすることで、市の教育方針がより市民へ伝わりやすくなります。

2 柔軟な重点施策変更

大綱期間内であっても、柔軟に重点施策を変更できます。

3 単年度事業の重点化

各年度に重点を置く方針に対して、集中的な事業実施が可能になります。

4 目標管理と成果検証の明確化

実施計画で具体的な数値目標を設けることで、毎年度の成果確認がしやすくなります。

2 次期むつ市教育大綱実施計画及び計画の構成

実施計画へ移行し、毎年度の成果と予算を柔軟に管理・再構築するための制度設計

現状 現在の実施計画の構成

1 学校教育の充実

(1) 学力の向上

- ・①明確な目標設定

※計画内容：実施事業名、概要、計画、予算



次期案 次期実施計画の構成

1 主体的に未来を切り拓く人づくり

① 学びに向かう力の涵養と学力の向上

※計画内容：目標設定、実施事業、計画、予算

2 誰一人取り残さないきめ細やかな教育

② キャリア教育の充実

※計画内容：目標設定、実施事業、計画、予算

3 こどもの学びを支える教育環境の充実

③ 異文化理解・外国語教育の充実

※計画内容：目標設定、実施事業、計画、予算

Point 実施計画に目標を設定することで成果の見えない事業の再構築など、各年度事業に柔軟に事業を構築・実施する

【次期実施計画の構成イメージ案】

重点項目1：主体的に未来を切り拓く人づくり

① 学びに向かう力の涵養と学力の向上

5か年の成果目標

むつ市総合学力調査の合計点数〇〇点以下の児童生徒数の減少（小：〇〇人→〇〇人、中：〇〇人→〇〇人）

イメージ案 A 成果を求められる事業

事業名	総合学力調査・知能検査実施事業
担当課	学校教育課
事業概要	学力検査・知能検査の実態把握を通し、学力向上に向けた指導法改善等の基礎資料作成を行う。
実施計画	・総合学力調査を小学校4年生から中学校3年生まで実施。 ・知能検査を小学校4年生、中学校1年生で実施。
予算措置	事業総額 3,491,000円 (消耗品費 211,000円、委託料 3,280,000円)

イメージ案 B 成果を得るための下地づくりに必要な事業

事業名	指導の方針と重点に関する指導・支援事業
担当課	学校教育課
事業概要	指導資料の配付や学校計画訪問等により、課題である学力向上と生徒指導の充実に向けた指導・支援を行う。
実施計画	資料配付、指導主事による学校訪問、伴走支援により、課題解決と教育目標の実現を強力に支援。
予算措置	事業総額 26,000円 (主な内訳：事務用消耗品 26,000円)